

## 北海道地域産業クラスター形成連携支援計画

### I 必須記載事項

#### 1 連携支援事業の目標

##### (1) 支援対象とする事業分野について

- ・本計画においては、道内市町村及び北海道が作成した 47 の同意基本計画（平成 31 年 2 月 28 日現在）のうち、37 の同意基本計画に定める、以下の「地域の特性」を活用した事業分野を対象とする。

##### ① 第 4 次産業革命分野

例：

- ・函館地域における公立ほこだて未来大学等の人材を活用した第 4 次産業革命（IoT・AI 技術等）
- ・苫小牧市の日本最大の産業地域「苫小牧東部地域」等のインフラを活用した第 4 次産業革命分野（自動走行等）
- ・岩見沢市の充実した高度情報通信基盤を活用した第 4 次産業革命（IoT/AI 活用の地域実装）
- ・札幌市の IT 産業の集積を活用した IT・クリエイティブ分野

##### ② 医療機器関連分野

例：

- ・札幌市の北海道大学等の研究機関の技術を活用した健康福祉・医療分野
- ・旭川市の医療関係機関の集積を活用したヘルスケア関連分野
- ・北広島市の化学工業、印刷・同関連業等の集積を活用したものづくり関連分野

##### ③ 機能性食品・バイオ関連分野

例：

- ・札幌市の北海道大学等の研究機関の技術を活用した健康福祉・医療分野
- ・旭川市の医療関係機関の集積を活用したヘルスケア関連分野
- ・江別市の北海道情報大学等の研究機関の知見を活用した食料品製造関連分野
- ・小樽市の食料品製造業の集積を活用した食料品製造関連分野

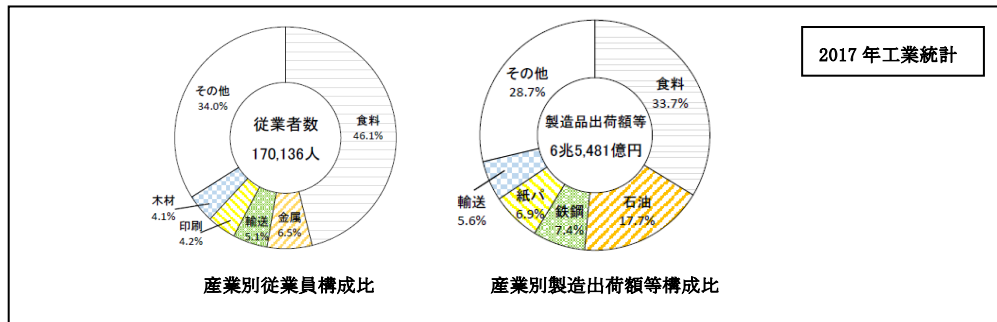
※道内における同意基本計画に記載されている「5（1）地域の特性及びその活用戦略」と本計画における連携支援事業との整合性のある事業分野の詳細は、別紙のとおりである。このため、本計画における連携支援事業を実施する地域は同意基本計画の促進区域をベースとした北海道全域となる。

※なお、今後新たに基本計画（計画変更含む）が作成・提出された場合、本計画における連携支援事業が支援対象とする事業分野との整合性を図りながら、連携支援事業を実施していくものとする。

- ・道内の産業別製造品出荷額は、33.7%が「食料」であり、従業者数の割合も 46.1%と極めて高く、「食品分野」は北海道の基幹産業となっている。本分野において「第

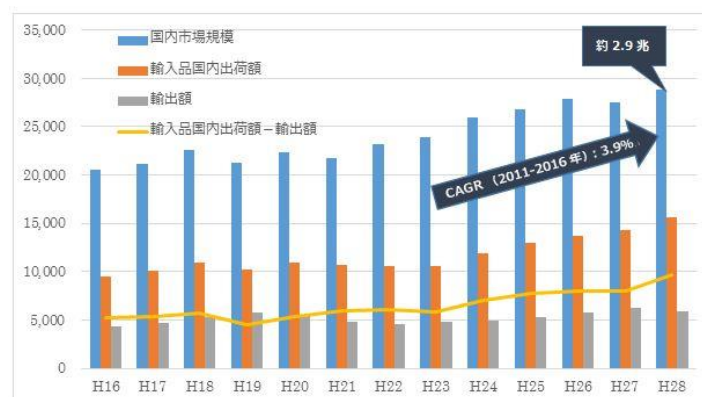
4 次産業革命分野」の技術を活用することにより、生産性の向上が図られ、競争力の強化にもつながってきている。

また、北海道は、平成 23 年 12 月に国から日本で唯一の「食」の国際戦略総合特別区域（北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区））の指定を受け、「北海道をオランダのフードバレーに匹敵する食の研究開発拠点・輸出拠点とする」ことを目標に、地域一丸となって各種事業を行っている。



- ・「医療機器」の道内売上は 63 億円（平成 26 年度）であるが、我が国の医療機器市場規模（国内売上額）は平成 16 年以降増加し、平成 26 年は過去最大の約 2.8 兆円となった。対前年伸び率は年によって増減しているが、平成 6 年から 26 年までの平均伸び率は約 3.0%（厚生労働省 薬事工業生産動態統計）であり、景気の影響を受けにくい安定市場と言える。

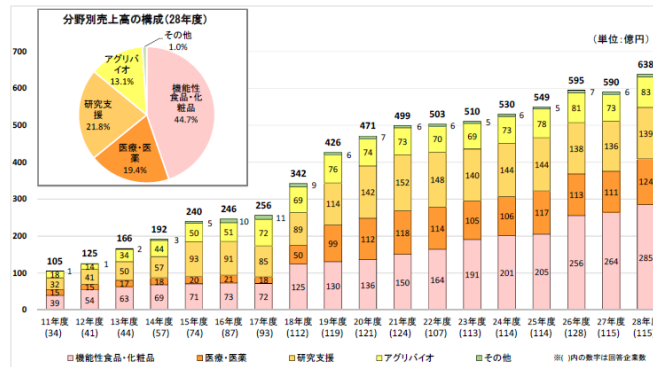
このため、経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（以下、「ノーステック財団」）を事務局機関とする「北海道医療機器関連産業ネットワーク」を平成 28 年度に設立し、グローバルニッチトップ企業やものづくり・IT 企業等による医療機器および関連製品（以下「医療機器等」）の開発や、医療機器メーカーや医療現場とのマッチング、専門家によるマッチング支援、医療機器産業への参入拡大に向けた情報提供等の取り組みを支援してきたところである。



- ・「道内バイオ産業」の売上高は、北海道のバイオ産業クラスター計画が開始された平成 13 年度以来、堅調に成長しており、特に、北海道大学や札幌医科大学等の大

学の研究シーズを活かした機能性素材や創薬原料等の開発、事業展開が今後とも期待されている。

経済産業省北海道経済産業局では、バイオ産業の成長を目指す「北海道バイオ産業クラスター・フォーラム」を平成14年7月に立ち上げ、ノーステック財団が事務局として、企業間連携、研究開発支援や販路開拓支援などを進めてきた。



- ・上記の状況を踏まえ、連携支援事業を共同で行う各地域経済牽引支援機関はお互いの知見を活かし、連携して同意基本計画に沿った地域経済牽引事業の研究開発から製品化、販売促進までの各段階を効果的に支援していく。

(2) 地域における支援体制について

- ・本計画における地域経済牽引支援機関は、科学技術、企業経営、販路開拓、金融等の支援を担う専門機関である。これまでも各機関が関連する案件に応じ、各々対応してきたところであるが、本計画における連携支援事業の実施により、これまで以上に連携を図り、道内各地における同意基本計画に沿った地域経済牽引事業の遂行のため、研究開発から製品化および販路拡大まで、ワンストップで支援していくことが可能である。
- ・また、各地域経済牽引支援機関とともに全道各地域を効果的にカバーする支援体制を構築していく。

① 第4次産業革命分野

道内の食品メーカーと食品機械メーカー(システムインテグレータ(SIer)を含む)、道外のロボットメーカー、ノーステック財団(事務局)から構成される「北海道食関連産業スマート化推進ネットワーク」を平成30年度に立ち上げている。また、道内各地域の産業支援機関やものづくりに関連する業界団体の連携のもと、ものづくり企業の技術課題や新製品の開発などに関する相談に対応するワンストップ窓口を設置し、効果的な課題解決を促進するため、「北のものづくりネットワーク」が平成28年度に整備され、ノーステック財団は中核機関として位置づけられている。

それぞれのネットワークを核として、業界団体や金融機関等が支援機関に加わることで、北海道の基幹産業である食関連産業の生産性向上と省力化のためのスマート化モデルを創出し、全道への普及拡大を図ることが強化される。

#### ②医療機器関連分野

経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、ノーステック財団を事務局機関とする「北海道医療機器関連産業ネットワーク」を平成 28 年度に設立。現在 60 の企業等が参画している。

本ネットワークを核として、大学や金融機関等が支援機関に加わることで、医療機器等の新商品開発が強化される。

#### ③機能性食品・バイオ関連分野

経済産業省北海道経済産業局では、バイオ産業の成長を目指す「北海道バイオ産業クラスター・フォーラム」を平成 14 年度に立ち上げ、ノーステック財団が事務局として、企業間連携、研究開発支援や販路開拓支援などを進めてきた。

現在、130 の企業が参画している。本ネットワークを核として、大学等の研究機関、業界団体、金融機関等が支援機関に加わることで、新商品開発から販路開拓が強化される。

#### (3) 地域の各地域経済牽引支援機関の役割について

連携支援事業を共同で実施する各地域経済牽引支援機関の役割と責任については、「3 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の提携又は連絡に関する事項」の(1)に掲げるとおり明確化するとともに、同「3」の(2)に掲げる連携体制を構築して、地域経済牽引事業を効果的に支援していく。

#### (4) 地域内で不足する支援機能の地域外からの補完について

先端技術の開発、導入を図り、道内産業を活性化していくには、道内地域のみでの支援連携では十分とはいえない。

このため、連携支援事業では、これまでノーステック財団をはじめとした各地域経済牽引支援機関が構築してきた道外との連携を更に深め、地域経済牽引事業への支援を行っていく。

#### ① 「第 4 次産業革命分野」

深刻な労働力不足や付加価値率低迷の問題に直面し、ロボット・IoT 導入などによる省人化・省力化に喫緊の課題とされている道内食品製造業に対し、現在、急速に進展している第 4 次産業革命の中核技術である IoT、ビッグデータ、ロボット、AI などは、道内の基礎情報や保有技術だけでは不足していることが大きな障壁となっている。

そこで、道内の支援機関等が不足している「スマートファクトリー化・IoT 化への導入プロセス」や「不定形である食品対象物を把持するロボットハンド開発などのソ

フトロボティクス」などについて、ノーステック財団が平成 30 年度「地域中核企業創出・支援事業」で構築した、道外の支援機関等（一般社団法人日本ロボット工業会、ロボット SIer やロボットメーカー、大学等）と連携（補完）していく。

## ② 「医療機器関連分野」

医療機器関連産業は、「医薬品・医療機器等の品質有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「薬機法」）」の承認等の法規制や、医療現場のニーズ収集の困難さや臨床評価といった、一般的な産業用機器とは異なる特有の参入へのハードルが存在する。

このため、道内企業等が円滑に医療機器関連産業に参入するためには、初期段階から医療機器製造販売企業（以下、「製販企業」）いわゆる医療機器メーカーと連携することが必要であるが、道内には製販企業が少なく、開発や販路開拓を支援する人材も不足しているため、国立研究開発法人日本医療研究開発機構や独立行政法人医薬品医療機器総合機構、医療機器開発支援ネットワーク、経営支援 NPO クラブ等との連携（補完）関係を構築していく。

## ③ 「機能性食品・バイオ関連分野」

機能性食品については、大手食品メーカーと競合する市場における販路開拓や、消費者ニーズを的確に捉えた商品開発等に課題を抱えている中小企業・小規模事業者が多いため、マーケティングやブランディングの支援機関等と連携を図る。

また、創業ベンチャーをはじめとして、再生医療や新素材等の新たなバイオ産業領域については、これらの分野の先端的な研究やビジネスに関して専門人材を有する、一般社団法人バイオインダストリー協会や公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団、NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議等の他地域のバイオ分野の支援機関と連携を図る。

## （5）想定する支援件数

産学官金の支援体制のもとで、第 4 次産業革命分野、医療機器関連分野、機能性食品・バイオ関連分野において新たな地域経済牽引事業（共同研究開発プロジェクトを含む）を創出・支援する。

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	合計
目標件数	10	15	20	20	20	85

## 2 連携支援事業の内容及び実施時期

### (1) 連携支援事業の内容

本計画における各地域経済牽引支援機関は、相互に連携し、以下 3 つの主な支援対象の事業分野における地域経済牽引事業について、次の方針で支援していく。

#### 【第 4 次産業革命分野】

北海道の基幹産業である一次産業、食品業界は深刻な労働力不足の問題に直面しており、ロボット導入による省人化が喫緊の課題となっている。

しかし、多様な生産現場の環境や、様々な原材料に応じた生産工程の状況などから、一次産業や食品業界におけるロボット導入には高いハードルが存在しており、全国的にロボット導入が進んでいない。

その原因の一つに、道外と比較して「システムインテグレータ」(SIer) の企業数 (8 社) が乏しいことも課題である。

このため、最適なロボットシステムを設計・提案し、ハンドや周辺装置の開発から工場への設置、動き方の教示やメンテナンスまでを幅広く担う専門人材の育成を進めていく。

また、SIer を食品製造業等の現場に派遣するなどを通じて、ロボット・IoT 導入支援等を行い、生産性向上に繋げていく。

#### 【医療機器関連分野】

医療機器関連産業は、多岐にわたり様々なものづくり・IT 技術の活用が期待されるとともに、高齢化が進む中で将来的な成長が見込まれる分野であり、中小企業が参入することによって、ものづくり・IT 企業の更なる発展、地域経済の活性化及び地域におけるイノベーション創出につながることが期待される。

しかしながら、医療機器関連産業は、一般的な産業用機器とは異なり、薬機法の承認等の法規制や、医療現場のニーズ収集の困難さ、臨床評価といった特有の参入へのハードルが存在する。

特に、医療現場のニーズや参入方策に関する情報不足が、企業の新規参入や事業拡大の妨げとなっており、ニーズを的確に捉えた商品開発や試作品の評価、エビデンスデータの取得等のため臨床現場と連携していくことはもとより、機器開発のノウハウや販路を有する製販企業との連携・協業、支援人材の活用が極めて重要である。

このため、道内ものづくり・IT 企業と製販企業や医療機関等との交流機会を創出し、新商品開発に向けた支援を進めていく。

また、新規参入に向けた医療機器関連産業に関する情報提供を行っていく。

#### 【機能性食品・バイオ関連分野】

良質な一次産品が豊富で、食・バイオ関連の企業・研究者が集積する北海道では、北海道情報大学の食の臨床試験システム「江別モデル」が運用されているほか、地域独自の食品機能性表示制度「ヘルシーDo」が国の「機能性表示食品」制度に先駆けて実現し、これまでに 113 商品が認定 (平成 31 年 2 月 28 日時点) されるなど機能性食品の開発に取り組みやすい環境が整っている。しかしながら、機能性食品の市場競争も激化しており、市場ニーズに合

った商品開発及び新たな販路開拓を目指していく必要がある。

このため、ブランディングやマーケティング、販路開拓支援等により、機能性素材・食品企業の販売力を強化していく。

また、OECD の試算によると創薬を含む世界のバイオ市場は 2030 年に約 200 兆円と巨大な市場になると予測されている。医科等生命科学系大学の多い北海道では、近年、研究者シーズを活用した再生医療や遺伝子治療、がんの早期診断技術等で最先端の医薬品・医療技術、新素材等の新たなバイオ産業領域の技術開発に取り組む企業や大学発ベンチャーが誕生している。こうした企業の研究開発や資金調達、シーズの導出等を加速化させるため、最先端の医療やその他バイオ分野の開発を支援する道外の支援機関との交流や製薬企業等川下企業とのマッチング、支援人材の拡充等により、先端的な技術シーズを有するベンチャー企業の支援体制を強化していく。



## (2) 計画期間

本計画の期間は承認の日から 2023 年度末日までとする。

(平成 31 年 2 月 28 日時点において、北海道内の 47 の同意基本計画のうち最も計画期限到来が遅い「2023 年度末日まで」となっているものと一致。)

3 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の提携又は連絡に関する事項

(1) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びに当該地域経済牽引支援機関の役割

	当該連携支援事業を実施する者の ①名称、②住所、③代表者名	④当該連携支援事業における役割
1	①公益財団法人北海道科学技術総合振興センター ②北海道札幌市北区北 21 条西 12 丁目 北海道大学構内 コラボほっかいど う ③理事長 高橋 賢友	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携支援事業の代表者。連携支援事業の進捗管理を行う。</li> <li>・「基礎的・先導的研究への支援事業」、「実用化・事業化へ向けた支援事業」、「ネットワーク形成に向けた支援事業」、「産学官連携推進事業」を活動の四本柱として位置づけ、研究開発から事業化までの一貫した支援と科学・産業技術を活かした新たな価値創造の取組を通じて、道内の産業イノベーションに取り組んでいる。</li> <li>・本計画において支援対象とする事業分野である「第 4 次産業革命分野」は、クラスター事業部、「医療機器関連分野」および「機能性食品・バイオ関連分野」は、研究開発支援部が担う。</li> <li>・また、各地域経済牽引支援機関の連絡調整を担うとともに、各支援事業において産業振興の視点からの助言・支援等を行う。</li> </ul>
2	①地方独立行政法人北海道立総合研究機構 ②北海道札幌市北区北 19 条西 11 丁目 北海道総合研究プラザ ③理事長 田中 義克	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野からなる法人本部と 6 つの研究本部、22 の試験研究機関を有する全道的な組織。</li> <li>・各支援事業において主として工業技術的視点からの助言・支援等を行う。</li> </ul>
3	①公益財団法人北海道中小企業総合支援センター ②北海道札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 経済センタービル 9 階 ③代表理事 永井 正博	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業の総合的支援機関として、技術開発助成、資金供給、経営コンサルティング、市場開拓、人材育成、創業やベンチャー企業の育成等に取り組んでいる。</li> <li>・また、中小企業庁の「よろず支援拠点」(平成 26 年度～)と連携して、中小企業・小規模事業者に対するワンストップ窓口を設置して支援サービスを提供している。</li> <li>・本計画では各支援事業において、主とし</li> </ul>



		て企業の経営的視点からの助言・支援を行う。
4	①一般社団法人北海道機械工業会 ②北海道札幌市中央区北1条西7丁目 3-2 北一条大和田ビル4階 ③会長 松本 英二	・道内に工場を有している鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業および各種機械製造業等 359 社が参画する組織。 ・本計画では各支援事業において、主として機械関連企業の技術的・経営的視点からの助言・支援を行う。
5	①一般社団法人北海道 IT 推進協会 ②北海道札幌市中央区北2条西3丁目 1-16 太陽生命ひまわり札幌ビル2階 ③会長 森 正人	・ソフトウェア開発、システムの設計製造をはじめとして、コンテンツ製作、メディアまで 165 社が参画する組織。 ・本計画では各支援事業において、主として IT 関連企業の技術的・経営的視点からの助言・支援を行う。
6	①一般社団法人北海道バイオ工業会 ②北海道札幌市北区北21条西12丁目 北海道大学構内 コラボほっかいどう内 ③代表理事会長 小砂 憲一	・道内の多様な専門性を有するバイオ関連企業 60 社が参画する組織。 ・本計画では各支援事業において、主としてバイオ関連企業の技術的・経営的視点からの助言・支援を行う。
7	①一般社団法人北海道食産業総合振興機構 ②北海道札幌市中央区北1条西3丁目3 札幌 MN ビル8階 ③理事長 高橋 賢友	・食の研究開発拠点・輸出拠点に向けた支援を行う組織。 ・本計画では各支援事業において、主として機能性食品の技術的・販路開拓の視点からの助言・支援を行う。
8	①北海道医療福祉産業研究会 ②北海道札幌市中央区南2条東2丁目 16番地 堀尾ビル3階 ③会長 多田 達実	・地域のものづくり・ICT企業と大学等及び試験研究機関が連携して医療及び福祉関連機器等の開発支援を行う組織。 ・本計画では各支援事業において、主として医療機器開発品の技術的視点からの助言・支援を行う。
9	①学校法人北海道科学大学北海道科学大学 ②北海道札幌市手稲区前田7条15丁目 4-1 ③学長 渡辺 泰裕	・工学系、医療系学部及び短期大学部の5学部14学科からなる総合大学。 ・保健医療学部には、理学療法学科や臨床工学科など、医療機器開発に関する研究が活発に行われている。 ・本計画では各支援事業において、主として医療機器開発品の技術的視点からの助言・支援を行う。
10	①学校法人電子開発学園北海道情報大学	・経営情報学部、情報メディア学部、医療情報学部など特徴的な各部を設置。

	②北海道江別市西野幌 59 番 2 ③学長 澤井 秀	・本計画では各支援事業において、主として機能性食品開発の技術的視点からの助言・支援を行う。
11	①株式会社北洋銀行 ②北海道札幌市中央区大通西 3 丁目 7 番地 ③取締役頭取 安田 光春	・本業の金融業務に加え、行内に支援体制を整備し、地方創生、食やものづくり産業の振興に取り組んでいる。 ・本計画では各支援事業において、融資やファンド出資などの金融的視点からの支援のほか、地域振興の取組などを行う。
12	①株式会社北海道銀行 ②北海道札幌市中央区大通西 4 丁目 1 番地 ③代表取締役頭取 笹原 晶博	・本業の金融業務に加え、行内に支援体制を整備し、地方創生、食やものづくり産業の振興に取り組んでいる。 ・本計画では各支援事業において、融資やファンド出資などの金融的視点からの支援のほか、地域振興の取組などを行う。

(2) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の相互の提携又は連絡に関する事項

<p>①「北海道地域産業クラスター形成連携会議（仮称）」の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域経済牽引支援機関を構成員とした「北海道地域産業クラスター形成連携会議（仮称）」（事務局：ノーステック財団）を設置し、市町村の基本計画や事業者等の地域経済牽引事業計画等に関する情報収集や、各機関における支援の取組状況について情報交換等を行い、効果的な連携支援事業を行っていく。</li> </ul> <p>②事業者、自治体等からの相談体制の整備</p> <p>ア 事業者からの相談に対しては、上記①に示す事務局が一元的な窓口として対応する。</p> <p>イ 事務局に対して事業者から問い合わせが入った際には、以下のとおり対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 事務局で解決に向けて対応可能な場合は、適宜対応する。</li> <li>b 事務局で対応が難しい場合は、適切な地域経済牽引支援機関、「北海道地域産業クラスター形成連携会議（仮称）」参加機関または他の支援機関と調整を図り対応していく。</li> </ul> <p>ウ 各地域経済牽引支援機関に対して事業者から問い合わせが入った際には、以下のとおり対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 当該機関で解決に向けて対応可能な場合は、適宜対応する。</li> <li>b 当該機関で解決に向けて対応が難しい場合は、地域経済牽引支援機関、「北海道地域産業クラスター形成連携会議（仮称）」参加機関または他の支援機関と調整を図り対応していく。</li> </ul> <p>エ イ及びウで対応が難しい場合は、事務局は関係機関と調整を図り、案件に応じて産</p>
--

学官金によるチームを結成するなどして解決策を提示する。

オ 地域経済牽引事業計画の承認を所管する北海道経済部や関係市町村等に対し、こうした相談体制の整備について周知を図るとともに、積極的な活用を促し、本計画の実効性を確保していく。

### ③日常的な情報交換

- ・上記①、②の体制に加え、メールや電話等の手段により情報交換を行うとともに、各地域経済牽引支援機関における連携支援事業の実施状況を四半期毎に事務局において集約する。

### ④PDCAサイクルによる進捗管理

- ・「北海道地域産業クラスター形成連携会議（仮称）」において、毎年度末、各地域経済牽引支援機関の取組状況を報告するとともに、本計画に関するレビューや効果の検証、事業の見直しなどを行う。

## II 任意記載事項

### 1 補助金等交付財産の活用に関する事項

該当なし

(備考)

- 1 記名押印については、氏名を自署とする場合、押印を省略することができる。
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(別紙)

北海道内における同意基本計画(平成31年2月28日現在)に記載されている「5(1)地域の特性及びその活用戦略」と本計画における連携支援事業と整合性ある事業分野

〈札幌市〉

- ・食関連産業等の産業集積を活用した**食料品製造関連分野**
- ・北海道大学等の研究機関の技術を活用した**健康福祉・医療分野**
- ・IT産業の集積を活用した**IT・クリエイティブ分野**
- ・製造業の集積を活用した**ものづくり関連分野**

〈函館市・北斗市・七飯町〉

- ・公立はこだて未来大学等の人材を活用した**第4次産業革命(IoT・AI技術等)**
- ・食料品製造業の産業集積を活用した**食料品製造関連分野**

〈旭川市・東神楽町・東川町〉

- ・豊富な森林資源を背景とした木材関連産業の集積を活用した**家具等製造分野**

〈室蘭市〉

- ・鉄鋼業等の産業集積を活用した**成長ものづくり分野(航空機等)**
- ・室蘭工業大学等の人材を活用した**成長ものづくり分野(航空機等)**

〈帯広市〉

- ・長いもや乳用牛・肉用牛等の農畜産品を活用した**食料品製造分野**
- ・生産用機械器具製造等の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ・農畜産業の集積を活用した**IT関連産業分野**

〈岩見沢市〉

- ・食品製造業の集積を活用した**食品製造関連**
- ・充実した高度情報通信基盤を活用した**第4次産業革命(IoT/AI活用の地域実装)**
- ・先駆的な健康経営都市宣言の取組を活用した**ヘルスケア**

〈千歳市〉

- ・新千歳空港等のインフラを活用した**食品製造業**
- ・食関連産業の集積を活用した**食品製造業**
- ・新千歳空港等のインフラを活用した**IT関連産業分野**
- ・IT産業の集積を活用した**IT関連産業分野**
- ・千歳科学技術大学の人材を活用した**IT関連産業分野**
- ・電子部品・デバイス・電子回路製造業、はん用機械器具製造業等の集積を活用した**ものづくり関連分野**

〈音更町〉

- ・音更大袖振大豆等の特産物を活用した**農林水産分野**
- ・音更大袖振大豆等の特産物を活用した**食料品等製造分野**

〈芽室町〉

- ・北海道横断自動車道等の交通インフラを活用した**食料品関連製造分野**

- ・生産量日本一のスイートコーン等の農畜産物の特産物を活用した**食料品関連製造分野**
- ・食料品製造業の産業集積を活用した**食料品関連製造分野**
- ・流通関係企業の産業集積を活用した**食料品関連製造分野**

#### 〈旭川市〉

- ・食料品製造業等の集積を活用した**食料品製造関連分野**
- ・機械金属産業の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ・パルプ・紙・紙加工品製造業の集積を活用した**パルプ・紙・紙加工品製造関連分野**
- ・医療関係機関の集積を活用した**ヘルスケア関連分野**
- ・充実した高度情報通信基盤を活用した**I T 関連産業分野**

#### 〈釧路市・白糠町〉

- ・水産物・生乳等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**
- ・「紙・パルプ産業」「機械・金属産業」等の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ・I T 産業の集積を活用した**I T 関連産業分野**

#### 〈北見市〉

- ・生産量全国一位のタマネギ、白花豆等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**
- ・北見工業大学等のI T 人材を活用した**I T 関連産業分野**
- ・木材加工企業等の集積を活用した**木材関連産業分野**
- ・北見工業技術センター等の公設試験研究機関の技術を活用した**ものづくり関連分野**

#### 〈苫小牧市〉

- ・自動車関連産業等の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ・日本最大の産業地域「苫小牧東部地域」等のインフラを活用した**第4次産業革命分野（自動走行等）**

#### 〈美唄市・奈井江町〉

- ・「プラスチック製品製造業」「金属製品製造業」等の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ・積雪寒冷な自然環境を活用した**食料品製造関連分野**

#### 〈芦別市〉

- ・精密機械製造業等の集積を活用した**ものづくり関連分野**

#### 〈江別市〉

- ・北海道情報大学等の研究機関の知見を活用した**食料品製造関連分野**
- ・「パルプ・紙・紙加工品製造業」「窯業・土石製品製造業」等の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ・I T 産業の集積を活用した**I T 関連産業分野**

#### 〈赤平市〉

- ・「かばん製造業」「木材・木製品製造業」等の集積を活用した**ものづくり関連分野**

#### 〈紋別市〉

- ・ホタテ、生乳等の豊富な農水産物資源を活用した**食料品製造分野**
- ・緑の循環森林認証（S G E C）材等の豊富な森林資源を活用した**林業・木材・木製品製造分野**

〈砂川市〉

- ・菓子製造業等の食関連産業の集積を活用した**食料品製造関連分野**
- ・菓子製造業等の食関連産業の集積を活用した**飲食料品小売分野**
- ・「化学工業」「窯業・土石製品製造業」等の集積を活用した**ものづくり関連分野**

〈恵庭市〉

- ・流通関連企業の集積を活用した**食料品製造関連分野**
- ・馬鈴薯、大根、南瓜等の露地野菜等の農産品を活用した**食料品製造関連分野**
- ・道央自動車道等の交通インフラを活用した**ものづくり関連分野**

〈石狩市〉

- ・大規模工業団地（石狩湾新港地域）等の産業インフラを活用した**食料品製造関連分野**
- ・大規模工業団地（石狩湾新港地域）等の産業インフラを活用した**ものづくり関連分野**
- ・充実した通信インフラを活用した**IT関連産業分野**

〈当別町〉

- ・お米・小麦・アスパラ等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**
- ・金属製品製造業の集積を活用した**ものづくり関連分野**

〈鷹栖町〉

- ・北海道縦貫自動車道等の交通インフラを活用した**食料品製造関連分野**
- ・北海道縦貫自動車道等の交通インフラを活用した**ものづくり関連分野**

〈中札内村〉

- ・枝豆等の農産物を活用した**食料品製造関連分野**

〈小樽市〉

- ・金属製品製造業・プラスチック製品製造業等の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ・食料品製造業の集積を活用した**食料品製造関連分野**

〈名寄市〉

- ・生産量日本一のもち米等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**
- ・「パルプ・紙・紙加工品製造業」等の集積を活用した**ものづくり関連分野**

〈富良野市〉

- ・野菜、乳用牛等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**

〈北広島市〉

- ・化学工業、印刷・同関連業等の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ・道央自動車道等の交通インフラを活用した**食料品製造関連分野**

〈仁木町〉

- ・さくらんぼ、ぶどう等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**

〈余市町〉

- ・りんご、ぶどう等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**

〈沼田町〉

- ・深川・留萌自動車道等の交通インフラを活用した**ものづくり関連分野**

〈滝上町〉

- ・小麦、スイートコーン、七面鳥、薄荷等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**

〈厚岸町〉

- ・さんま・カキ等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**
- ・造船製造・修理業等の集積を活用した**ものづくり関連分野**

〈森町〉

- ・カボチャ、トマト、ホタテ、エビ等の豊富な農水産物資源を活用した**食料品製造分野**
- ・道南スギ・トドマツ・カラマツ等の豊富な森林資源を活用した**林業・木材・木製品製造分野**

〈妹背牛町〉

- ・銑鉄鋳物製品製造業等の集積を活用した**ものづくり関連分野**

〈上富良野町〉

- ・「かみふらのポーク」等の農畜産物を活用した**食料品製造関連分野**
- ・ものづくり関連産業の集積を活用した**ものづくり関連分野**

〈大樹町〉

- ・「大樹町多目的航空公園」等の航空宇宙関連インフラを活用した**成長ものづくり分野**  
(小型ロケット開発等)